

豊田民報

日本共産党豊田市委員会
◆豊田市日之出町一六六
Tel: 三三・四七二
毎週一回発行

休業支援金・給付金について懇談 もとむら伸子衆院議員のレポート

7月29日、愛知県労働局
に行き、職業安定部の方々と
懇談しました。

党愛知県委員会新型コロナ
ウイルス対策本部のすやま初
美対策本部長たちと一緒に
です。



▶もとむら伸子衆院議員(奥中)、すやま初美対策本部長(奥右)

新型コロナウイルスで休業させられた中小企業の労働者のうち、休業中に休業手当を受けられない人が多かった。対して、賃金の8割(月額上限1万1000円)を給付する「休業支援金・給付金」の申請状況や周知方法などを聞きました。

休業支援金・給付金

10日から郵送による申請の受け付けが始まった休業支援金・給付金について労働局の担当者は、「制度が始まったばかり」としたうえで、申請は現在267件、支給は68件と報告しました。事業者が休業証明に協力しないケースは「今のところほとんどない」と話しました。書類に不備がない限り申請から支給まで「原則2週間」を目指していると述べ、オンライン申請は「準備中」だと話しています。

事業者の休業証明なしでも申請OK

職業安定部の里中秀文部長は、「事業者に雇用調整助成金の活用を呼びかけた上で、どうしても体力がなくて休業手当を支払えない場合に休業支援金を利用してもらうようになっている」と話しました。

すやまさんは、「休業証明に事業者の協力が得られないと労働者は申請をあきらめてしまう実態がある」と指摘し、事業者の休業証明がなくても申請できることなど制度の周知徹底を要請。事業者から通常月の6割に満たない不十分な金額であっても「休業手当」として受け取った場合は、支援金給付の対象外になるとして改善を求めました。

雇用調整助成金は、愛知県内で、7月28日までに1万1245件、緊急雇用安定助成金3980件で合計15225件。

※雇用雄調整助成金の規模別では、1月24日〜6月30日に中小企業は1万8392件、大企業は24件とのこと。業種としては、飲食、宿泊、卸売、小売が多いが、6月以降製造業が目立つようになったそうです。建設業の申請も増え、資材調達が輸入の関係で止まってしまったために活動できなくなっている模様。

労働局・ハローワークに正規職員の増員を

新型コロナウイルス関係で解雇や雇止めめされてしまった方は、愛知県内1707人(7月22日集計)。派遣の雇止めなど製造業が多いそうです。

新型コロナウイルス対応で、休業支援金や雇用調整助成金を対応する職員について、各地のハローワークから応援にきてもらったり、非正規で多く増員を凶つたそうです。国への要望について里中部長は、職員の正規での増員が必要だと語りました。

愛知労働局管内の出先機関(ハローワークや労働基準監督署)では、応援職員を出している関係もあり、夏季休暇が取れない実態もあるようです。

労働者を守る労働行政のさまざまなノウハウなどをもった国家公務員の皆様を育成していくためにも正規職員での採用を増やしていくことは当然の要求です。

私は、「国の手当が十分でなく、現場にご苦労をかけていることを申し訳なく思います。労働局や応援元の職員を増やしていくように国会でも求め



ていきたい」と述べました。

名古屋伏見の愛知労働局伏見庁舎が入ったビルには、職業安定部、雇用環境・均等部企画課、需給調整事業部だけでなく、ハローワーク名古屋中、愛知新卒応援ハローワーク、愛知わかものハローワーク、ヤング・ジョブ・あいち、あいちマザーズハローワーク、名古屋外国人雇用サービスセンターなどが入っています。懇談後は、すべてのフロアーを見させていただきました。

ハローワーク名古屋中の豊嶋吉武所長はじめそれぞれの部署の方々が対応してくださいました。失業給付を受けとりにも見える方も多くいらつしやいました。女性が半分以上いた印象です。雇用と生活を守るために引き続き頑張らなければと痛感します。(もとむら伸子)

福島を忘れない！原発ゼロ金曜行動

8月14日(金)
28日(金)

●午後6時～

●市駅改札ロテッキでスタンディング

主催：さよなら原発豊田市民行動連絡会

毘森公園内の用水フタと 自転車道の直線化を要望

豊田市において枝下（しだれ）用水の耐震化工事が昨年度、上流から毘森公園の近くまで行われました。（左写真）今年度は、毘森公園を通る用水の工事と設計が、愛知県



改修された枝下用水

の事業として行われます。現在の予定ではオープン水路となつていきます。平成20年に豊田市が作った毘森公園の基本構想図（下図）には、用水にフタがありました。公園を分断してしま

併せて、用水路に沿った枝下緑道の公園内直線化も要望しました。要望書を提出しました。用水に沿っていた枝下緑道（自転車道）も現在は、毘森公園にぶつかる公園内を迂回して通るルートになってい



豊田市の毘森公園基本構想図。H20年



毘森公園跡地を視察する本多のひろ衆院選予定候補

要望書は、住みよい豊田を創る会、日本共産党豊田市委員会の連名で提出しました。

2020年3月期役員報酬額の上位10氏

順位	氏名	所属	報酬額
1	高島準司	住友不動産	22億5900万円
2	マルセロ・クラウレ	ソフトバンクグループ	21億1300万円
3	クリストフ・ウェパー	武田薬品工業	20億7300万円
4	ラジーブ・ミスラ	ソフトバンクグループ	16億600万円
5	ディディエ・ルロワ	トヨタ自動車	12億3900万円
6	佐護克典	ソフトバンクグループ	11億1000万円
7	アンドリュウ・プランプ	武田薬品工業	10億4600万円
8	吉田憲一郎	ソニー	10億2300万円
9	ナイジェル・フラッド	SOMPOホールディングス	8億3900万円
10	金川千尋	信越化学工業	7億4600万円

東京商工リサーチ調べ

コロナ禍でも大企業 役員報酬は右肩上がり

コロナ禍にもかかわらず役員報酬が増えています。東京商工リサーチの集計によると7月17日現在、1億円以上の報酬を受け取った企業の経営者や役員は499人もいました。そのうち7割弱が前年度より報酬を増やしているといえます。

決算が不振でも

最高額は住友不動産元会長

の高島準司氏。基本報酬の6500万円に加えて、退職時報酬が21億9400万円も支払われています。1億円超の報酬を受け取った人数は前年と比べて減っていますが、金額上位には報酬が増えた役員も多い。

報酬額上位10人のうち3人がソフトバンクグループ（SBG）の役員ですが、全員増額されているようです。SBGの2020年3月期の当期利益は8000億円を超える赤字でした。企業決算が不振の一方で、役員報酬はちゃんと払われているわけです。

大企業の利益優先

コロナ禍でも安倍政権の「骨太の方針」では、「金融システムの維持」や「デジタル化の推進」といった大企業の利益を見据えた施策が目立ちます。格差拡大を是正するのではなく、コロナへの人々の不安をテコに企業の「ビジネスチャンス」をいっそう広げようとしています。逆立ち政治の極みです。（しんぶん赤旗7月21日付より）